

別記団体の長宛

山口労働局長

職場における死亡災害撲滅等に向けた要請について

貴団体におかれましては、労働災害の防止について、平素より格別のご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、山口県内の令和7年1月から5月末までの労働災害の発生状況は、死亡災害が5人、休業4日以上労働災害が481人（速報値）となり、前年同月比で死亡災害が2人増（66.7%増）、休業4日以上労働災害が62人増（14.8%増）といずれも大幅に増加し、大変憂慮すべき事態となっています。（詳細は別紙を参照願います。）

また、年齢別で見ると60歳以上の高年齢労働者の労働災害が167人となり、前年同月比で29人増（21.0%増）、事故の型別で見ると転倒による労働災害が142人となり、前年同月比で33人増（30.3%増）となっています。

これらの災害の中には、「不安全な状態（悪天候時の作業を含む）」、「不安全な行動」、「安全衛生管理体制の不備」等が背景にあることが懸念されるところです。

つきましては、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意のもと、下記事項にご留意の上、貴団体の労働災害防止に向けた取組強化を図られるとともに、傘下会員事業場に対して、死亡災害の撲滅及び労働災害全体の減少に向けた基本的な安全衛生活動の着実な実行・確認のための総点検を実施すること、関係事業場を含めて企業全体で原点に立ち返った安全衛生活動の強化を図っていただくことについて、ご周知、ご指導いただきますよう要請いたします。

記

- 1 経営トップによる死亡災害撲滅、労働災害防止にむけた決意表明により、関係者の意思統一及び安全意識の高揚を図ること
- 2 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」に基づく措置の実施
- 3 安全衛生パトロールの実施及び機械設備に係る総点検を実施すること
- 4 K Y（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策を実施すること
- 5 強風、大雨等の気象警報や注意報及び熱中症警戒アラート等を確認し、作業に危険が予想される場合には作業を中止することを含め、安全な作業管理を行うための体制を整備すること

(別記6 団体)

一般社団法人 山口県労働基準協会
建設業労働災害防止協会 山口県支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会 山口県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会 山口県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会 九州総支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会 中国総支部

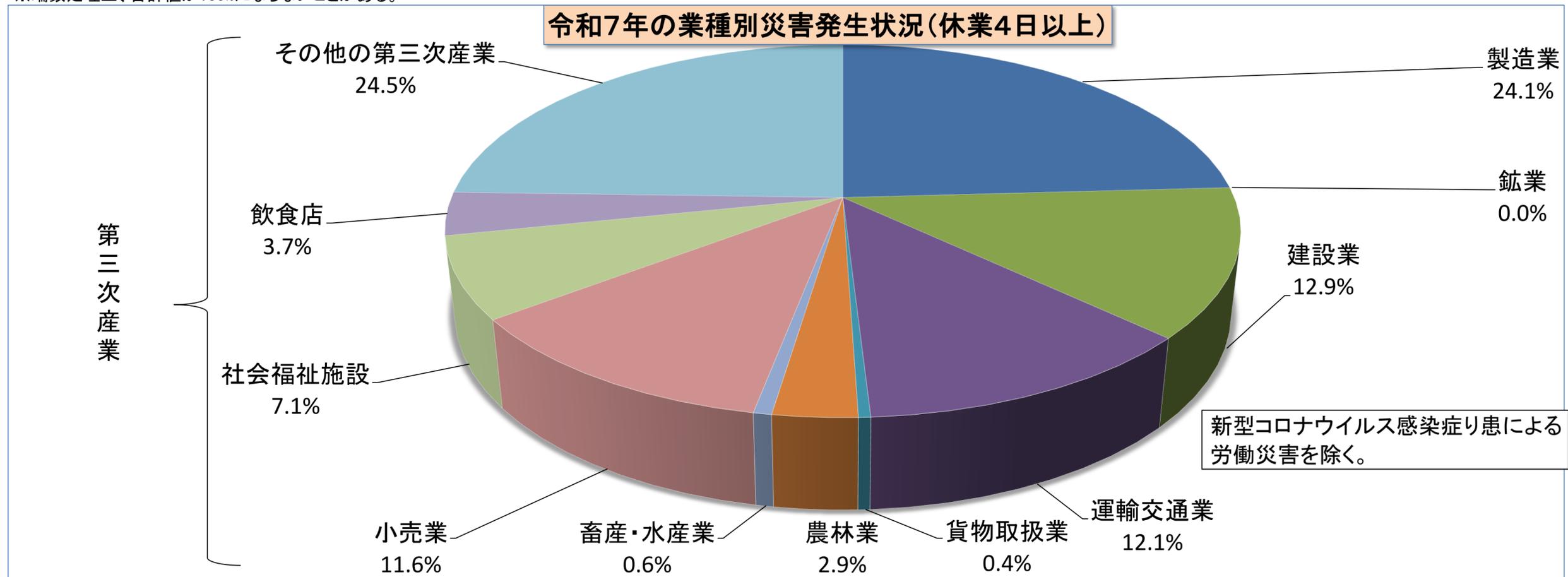
令和7年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

山口労働局

令和7年5月末現在 労働者死傷病報告による

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減数	増減率	うち高年齢労働者(60歳以上)件数				うち転倒災害件数					
							死亡	休業災害	合計	構成比※	占有率	死亡	休業災害	合計	構成比※	占有率
全産業	5 (3)	476	481	100.0%	+62	+14.8%	2	165	167	100.0%	34.7%		142	142	100.0%	29.5%
製造業	1	115	116	24.1%	+16	+16.0%		37	37	22.2%	31.9%		28	28	19.7%	24.1%
鉱業					-1	-100.0%										
建設業	1 (1)	61	62	12.9%	+11	+21.6%		17	17	10.2%	27.4%		6	6	4.2%	9.7%
運輸交通業	(1)	58	58	12.1%	+11	+23.4%		15	15	9.0%	25.9%		14	14	9.9%	24.1%
貨物取扱業		2	2	0.4%	-3	-60.0%							1	1	0.7%	50.0%
農林業	1	13	14	2.9%	+5	+55.6%	1	2	3	1.8%	21.4%		2	2	1.4%	14.3%
畜産・水産業		3	3	0.6%	-2	-40.0%							1	1	0.7%	33.3%
第三次産業	2 (1)	224	226	47.0%	+25	+12.4%	1	94	95	56.9%	42.0%		90	90	63.4%	39.8%
小売業		56	56	11.6%	-3	-5.1%		27	27	16.2%	48.2%		22	22	15.5%	39.3%
社会福祉施設	(1)	34	34	7.1%	-2	-5.6%		13	13	7.8%	38.2%		18	18	12.7%	52.9%
飲食店		18	18	3.7%	+5	+38.5%		3	3	1.8%	16.7%		10	10	7.0%	55.6%
その他の第三次産業	2	116	118	24.5%	+25	+26.9%	1	51	52	31.1%	44.1%		40	40	28.2%	33.9%

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。



令和7年 死亡災害速報
令和7年5月集計

本年累計	5人	内交通事故	1件
前年同期	3人		2件

死亡災害報告による

	災害発生日	業種	年齢	事故の型	起因物	災害の概要
1	1月	造船業	50歳代	火災	アーク溶接装置	建造中の船舶内部で、鋼管架台のアーク溶接取付作業を単独で行っていたところ着衣に引火し、全身火傷を負ったもの。
2	1月	林業	60歳代	激突され	立木等	チェーンソーで伐木作業を行っていた被災者が、頭部を倒木と地面との間に挟まれた状態で発見されたもの。死因は窒息。
3	1月	産業廃棄物処分業	40歳代	崩壊、倒壊	解体用機械	解体用重機を使用して木くずをトラックに積込む作業をしていたところ、木材が解体用重機の周囲を囲っていたコンクリートブロックに接触してブロックが倒壊し、近くで作業を行っていた被災者にブロックが激突したものの。
4	2月	警備業	60歳代	激突され	立木等	電線に掛かった倒木を除去する作業現場において車両の交通誘導を行っていた警備員に、除去しようとしていた倒木とは別の木が倒れてきて、被災者に直撃したものの。
5	5月	鉄道軌道建設工事業	50歳代	交通事故(道路)	トラック	資材置場にて工事で使用する資材などをトラックに積み込み、現場へ向かう途中、県道を走行中に左側ガードレールに接触し、接触した反動で反対車線の法面に乗り上げ、反対車線上で横転したものの。